

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

～児童生徒の学力・学習状況の現状と今後の取組について～



令和8年 9 月
桑名市教育委員会

目 次

はじめに（調査の概要・参加状況）	1
------------------------	---

I 教科に関する調査結果（小学校・中学校の各教科）

小学校国語.....	2
小学校算数.....	3
中学校国語.....	4
中学校数学.....	5
中学校英語.....	6

II 桑名市の児童生徒質問紙調査の結果より

ウェルビーイング.....	7
学校の授業時間以外の使い方.....	10
探究的な学びに関わって.....	11

III 桑名市の取組について（学習指導・生徒指導・人権教育）

おわりに（桑名市教育大綱と今後の方向性）	15
----------------------------	----

桑名市における令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果概要

はじめに

全国学力・学習状況調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策を検証・改善したり、学校における教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てたりするために実施されています。

令和8年度は、4月23日（木）に実施され、市内の小学校及び義務教育学校6年生（24校：1,126人）と、中学校3年生及び義務教育学校9年生（9校：1,161人）が参加しました。今年度は、小学生は、国語・算数の2教科、中学生は国語、数学、英語の3教科と小・中ともに質問調査が行われました。なお、中学校・英語は、オンラインによる調査（CBT）として実施されました。

I 教科に関する調査結果

*全国、三重県、桑名市いずれも公立校のみの結果を集計した値（単位は%）

*平成29年度より全国値以外は、小数点以下を四捨五入した整数値での公表

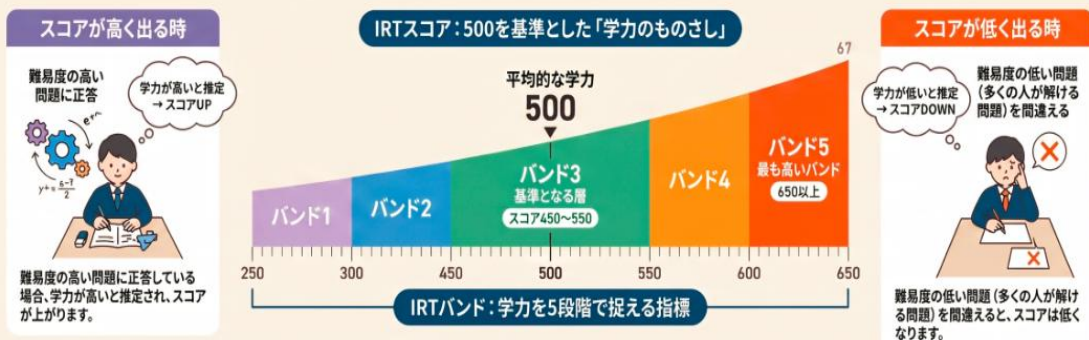
各教科の平均正答率

		国 語	算数・数学	英語
小学校	桑名市	62	56	
	全国	60.9	56.4	
	三重県	61	55	
中学校	桑名市	65	61	514※
	全国	63.9	57.0	499※
	三重県	62	56	494※

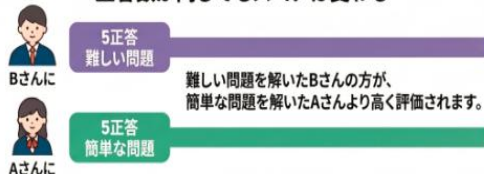
※中学校英語については、CBT 調査により、IRT スコアを表示

IRT スコア・IRT バンドの仕組み

全国学力・学習状況調査で導入されるIRT（項目反応理論）の概要と、スコアが上下する仕組みを視覚的に理解する。



正答数が同じでもスコアは変わる



比較項目	素点方式（正答数）	IRT方式（スコア）
評価の基準	何問正解したか（数）	どの程度の難易度を解けたか（質）
算出のポイント	全ての問題が同じ1点	問題の難易度や特性を考慮
メリット	単純で分かりやすい	異なる問題でも同じ尺度で比較可能

各教科の桑名市における特徴

小学校国語

小学生・中学生・および義務教育学校児童生徒の正答率が高い問題と、正答率が低い、または無解答率が高い問題を、本市の特徴的なものとして紹介します。

◎話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる問題〔知識・技能/選択式〕

正答率
約8割

【大問 3】一 の概要

【文章】の特徴として適切なものを選択する問題

【結果分析】

正答率は 76.7%です。
約8割近くの児童が、文章の種類(随筆)とその記述上の特徴を正しく理解できています。

【本文より】
運動会の季節です。運動が苦手な人にとつては、運動会の季節はゆううつかもしれません。私も、昔からスポーツ全般が苦手。運動会や球技大会の時期が近づくと、心がざわざわしました。さて、この私の気持ちに「わかる！」と思った人たちに、聞いてほしい話があります。実は、私は大人になって、自分が「運動が好き」かもしれないと思い始めました。
(略)

▲引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題〔思考・判断・表現/記述式〕

正答率
約3割

【大問 2】四の概要

【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く問題。

〔設問四〕

<条件>

○【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んでぬき出して書くこと。

○ぬき出した内容はかぎカッコ(「」)でくくること。

○ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。

○140字以内にまとめて書くこと。

【結果分析】

正答率は 32.1%です。

条件に即して情報を抜き出し、自分の考えと区別して論理的に構成する力に課題があります。

【花山さんの文章の続き】

4. すずしく過ごせる衣服の色は何色か
「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、表ででもすずしく過ごすことができそうだ。
また、
5. 終わりに
これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今夏分かったことを活かして、これから生活の中で衣服をくふうしていきたい。
(伊藤文けん)

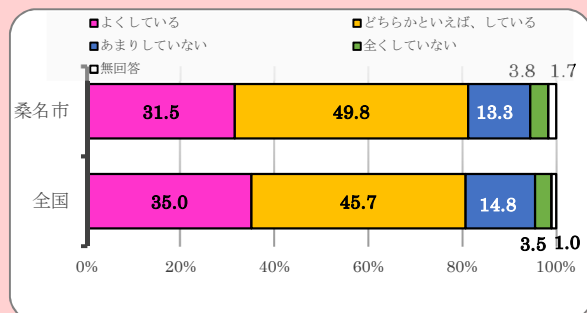
【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。青があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と衣類	白は熱や光を反射させる色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

小国-11

条件を満たすことを意識しながら、文章を書く力が求められます。

■(児童質問紙より) 5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか。【学習状況(国語)と正答率との相関について】



質問調査にて「5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている」と肯定的に答えた児童の平均正答率が高い傾向にあります。

小学校算数

◎示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題
〔知識・技能/短答式〕

正答率
約 8 割

【大問4(2)の概要】

昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く問題。

【結果分析】

正答率は 77.9%です。

示された複数の条件を組み合わせて論理的に処理し、必要な時間を導き出す力が身についています。

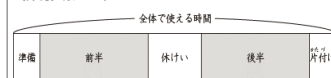
(2) さくらさんたちは、昔遊びを計画することになり、下のように【昔遊びの計画】を立てました。

【昔遊びの計画】

遊び方について

- ・ 前半と後半に、あやとり、または、かるたで遊ぶ。
- ・ 前半と後半が、同じ遊びでもちがう遊びでもよい。

時間の使い方について



- ・ 全体で使える時間は 60 分間。
- ・ 片付けは最初の 5 分間。
- ・ 前半と後半の間の休みは 10 分間。
- ・ 片付けは最後の 5 分間。
- ・ 前半と後半の時間は同じ。

【昔遊びの計画】を見ると、「前半」の時間は、何分間ですか。
答えを書きましょう。

▲単位量当たりの大きさを求める式の意味を理解し、どちらのほうが混んでいるか判断する問題
〔思考・判断・表現/短答式〕

正答率
4割以下

【大問2(3)の概要】

ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ問題。

【結果分析】

正答率は 36.0%です。

正答率自体が低く、計算結果が何を表しているのかという「式の意味理解」に課題が見られます。

(3) AとBの2つのペンギンの広場があります。
下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積		
ペンギンの数 (羽)	面積 (m ²)	
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方が混んでいるかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】	
A	$10 \div 20 = 0.5$
B	$12 \div 30 = 0.4$

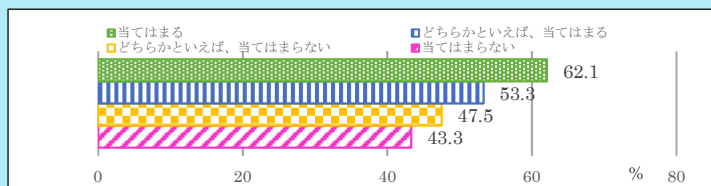
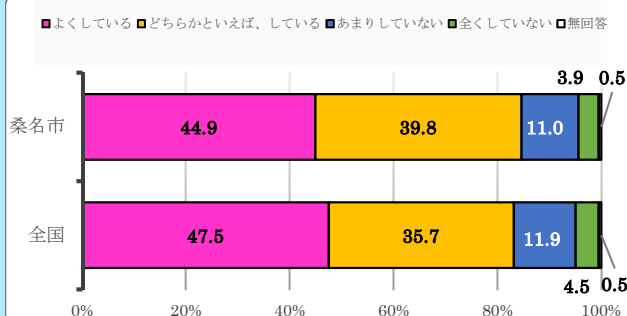
【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方が混んでいるのかについて、下のようにまとめます。
下のアとイ、ウとエの中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は		ア	1 m ² あたりのペンギンの数	を求めています。
		イ	1羽あたりの面積	
両方比べると	ウ	数が大きいAの広場	の方が混んでいることがわかります。	
	エ	数が小さいBの広場		

ことねさんの計算は、ペンギンの数(羽)を広場の面積(m²)でわる計算式。これは、1 m²あたりのペンギンの数を求めています。1羽あたりの面積であると解答した児童が約5割いました。

■ (児童質問紙より) 5年生のときに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか。

【学習状況(算数)と正答率との相関について】



質問調査にて「5年生のときに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている」と肯定的に答えた児童の平均正答率が高い傾向にあります。

中学校国語

◎表現の効果を考えて、描写することができるかどうかをみる問題
〔思考・判断・表現／短答式〕

正答率
9割以上

【大問 3 二 の概要】

気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く問題。

【結果分析】

正答率 92.6%です。

描写を豊かにするための表現の工夫において高い思考・判断力を示しています。

【本文より】
風が私の背中を押して、自転車はぐんぐん進んでいく。私の気持ちもどんどん明るくなつて、ペダルをこいだ。道の途中、横風や向かい風になるときもあるが、気にならなかつた。「もう一枚描いてから帰ろうかな。」家の近所の小さな公園で自転車を止めた。(略)

▲文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする
ことができるかどうかをみる問題
〔思考・判断・表現／記述式〕

正答率4割以下
無解答率約2割

【大問 4 四の概要】

二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く問題。

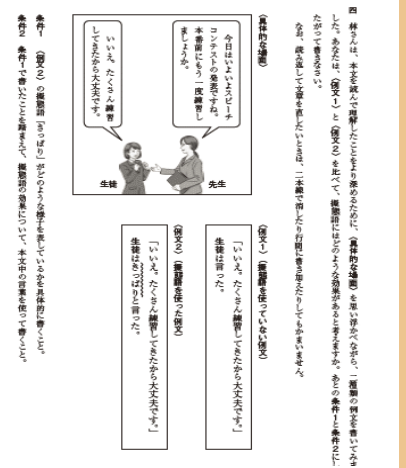
条件1〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

【結果分析】

正答率 38.7%です。

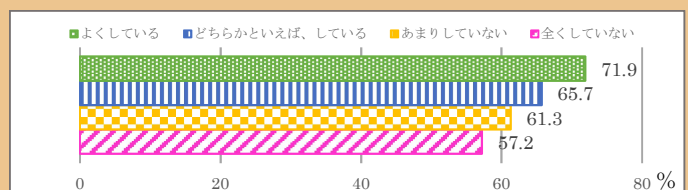
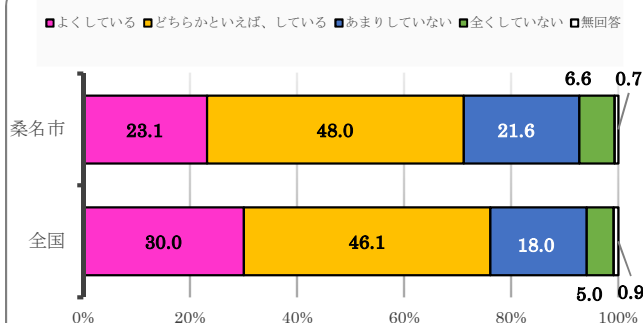
提示された条件を満たして、説明する力に課題が見られます。



「きっぱり」を説明できているが、擬態語の効果について本文中の言葉を使って書くことができない生徒が約3割いました。本文中の記述から、擬態語について要約している表現を読み取り、それを説明する力が求められます。

■（生徒質問調査より）１、２年生のときに受けた授業では、文章を書いた後に表現の工夫と効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだしていましたか。

【学習状況（国語）と正答率との相関について】



質問調査にて「1、2年生のときに受けた授業では、文章を書いた後に表現の工夫と効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだしている」と肯定的に答えた生徒の平均正答率が高い傾向にあります。

中学校数学

◎与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる問題
〔知識・技能/短答式〕

正答率
約8割

【大問7(1)の概要】

動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標を書く問題

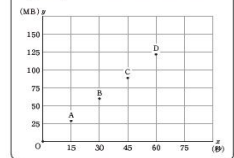
【結果分析】

正答率は 79.8%です。

座標の意味を理解し、視覚的な資料からの的確に数値を見つけ出す力が身についています。

⑦ 光希さんのクラスでは、クラス紹介の動画を撮影することになりました。撮影する動画のデータ量は1000 MBまでにすることになっています。

そこで、動画の時間によってデータ量がどのように変わるかを調べるために、同じ撮影方法で時間だけを変えて動画を撮影し、動画の時間とそのデータ量を記録しました。そして、動画の時間が2秒のときのデータ量をy MBとして、次のように表にまとめ、下のグラフに書き込みました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 調べた結果を表をみて、グラフの点Cの座標を書きなさい。

中3-11

▲二つのデータの傾向を比較し、判断の理由を数学的に説明する問題
〔思考・判断・表現/記述式〕

正答率 約3割
無解答率約3割

【大問9(3)の概要】

「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する問題。

【結果分析】

正答率は 32.0%です。

2つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明することに課題があります。

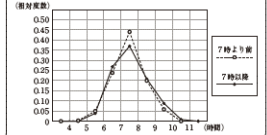
⑨ (3) 二人は、睡眠時間の傾向をさらに知りたと思い、全校生徒を次のように分け、睡眠時間の分布の傾向を調べることになりました。

悠真さん…起床時刻が7時より前と7時以降の生徒に分ける
悠真さん…起床時刻が23時より前と23時以降の生徒に分ける

悠真さんは、起床時刻で分けた場合について、各階級の相対度数を求めて度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。

悠真さんが調べたこと

起床時刻が7時より前の生徒…211人
起床時刻が7時以降の生徒…89人



悠真さんは、上の2つの度数分布多角形を比較して、次のようにまとめました。

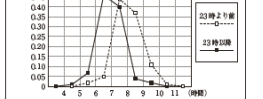
悠真さんのまとめ

2つの度数分布多角形は同じような形である。また、2つの度数分布多角形はほぼ同じ位置にある。したがって、起床時刻が7時より前の生徒と7時以降の生徒の睡眠時間は同じような傾向にある。

悠真さんは、起床時刻で分けた場合について、各階級の相対度数を求めて度数分布多角形に表しました。

悠真さんが調べたこと

起床時刻が23時より前の生徒…152人
起床時刻が23時以降の生徒…148人



悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形を比較すると、「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張することができると考えます。そのように主張することができる理由を、悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明します。前ページの悠真さんのまとめを参考に、下の説明を完成させなさい。

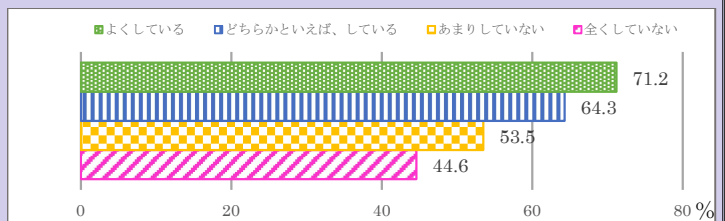
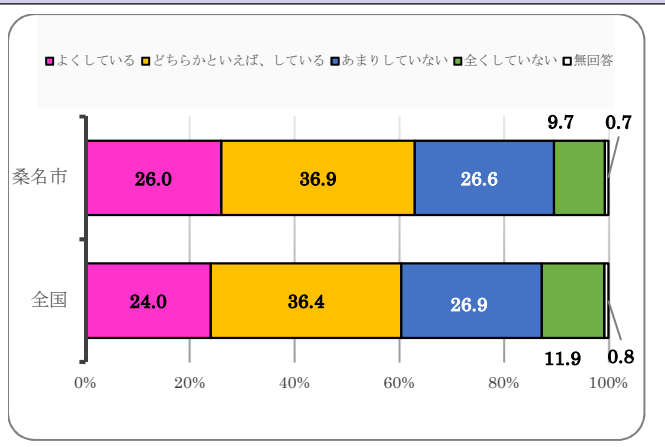
説明

したがって、就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある。

度数折れ線の左右のずれ等に注目して、「なぜそういえるか」を説明して、記述する力が求められます。

■(生徒質問調査より) 1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか。

【学習状況(数学)と正答率との相関について】



質問調査にて「1、2年生のときに受けた授業で、数学の授業でどのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている」と肯定的に答えた生徒の平均正答率が高い傾向にあります。

中学校英語

今年度の中学校 英語の調査は CBT による調査のため、生徒により問題構成が異なっています。
中学校英語 3 技能(聞く・読む・書く)の桑名市における結果として平均 IRT スコアは 514 であり、全国平均(499)を大きく上回る極めて良好な結果でした。

◎日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題
〔思考・判断・表現／選択式〕

正答率
約8割

【大問3の概要】

学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する問題。

【結果分析】

正答率は 76.5%です。

リスニングで、自分に関連する特定の情報を的確に聞き取る力が身についています。



▲社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかを見る問題
〔思考・判断・表現／記述式〕

正答率
約3割

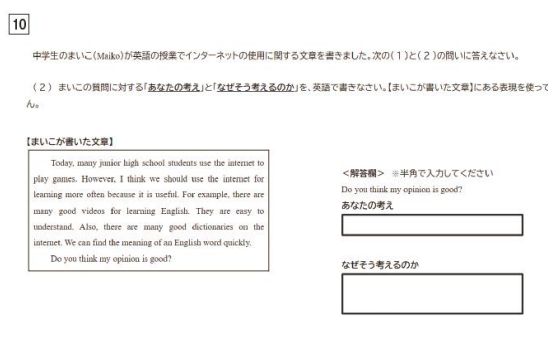
【大問10(2)の概要】

インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題。

【結果分析】

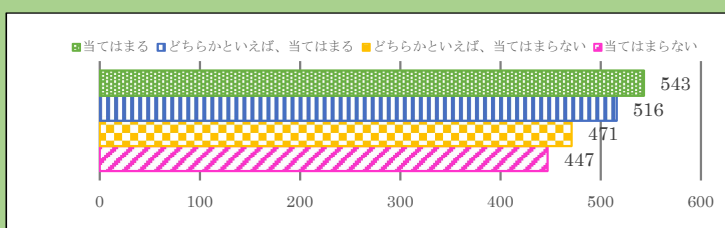
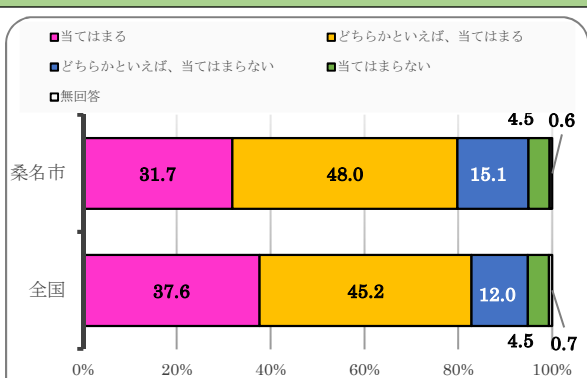
正答率は 30.5%です。

既習の表現を活用し、自分の考えやその根拠をその場で英文に構成して表現することに課題があります。



■(生徒質問紙より) 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いたりする活動が行われていましたか。

【学習状況(英語)と正答率との相関について】※IRT スコア



質問調査にて「1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われている」と肯定的に答えた生徒の正答率が高い傾向にあります。

Ⅱ 児童生徒質問の調査結果

児童生徒質問の調査とは、小6・中3・義務教育学校9年生を対象にしたオンラインによるアンケート調査で、学習状況や生活状況について回答しています。

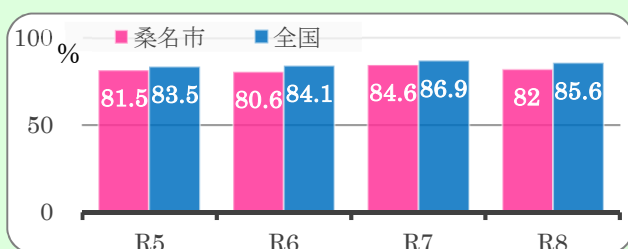
これらの回答から見えた結果をもとに、国や県の状況に照らして、児童生徒の特徴的な傾向を紹介します。

社会全体の変化に合わせて、児童生徒のウェルビーイングに関わる項目を中心にとりあげました。ウェルビーイングとは、体も心も健康で、周りの人とのつながりを大切にしながら、一人ひとりが幸せに生活できている状態のことです。自分だけでなく、周りの人や地域、社会の幸せも大切にする考え方です。

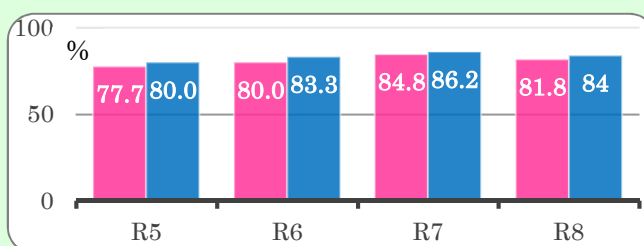
※グラフ内の数値は桑名市・全国の児童生徒数を 100 としたときの肯定的に回答している児童生徒の割合

○自分には良いところがある

【小学生】



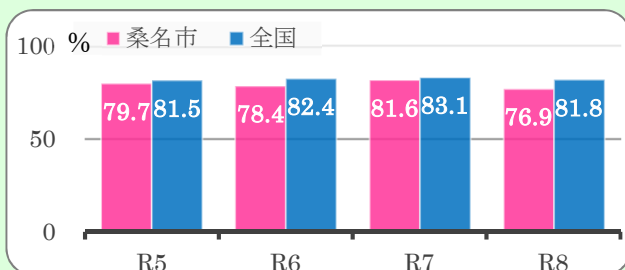
【中学生】



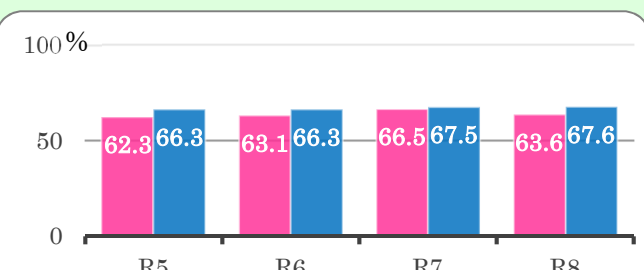
この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに8割を超えていますが、昨年度との比較においては、小中学生ともに低下し、全国値よりやや低い傾向が続いています。

○将来の夢や目標を持っている

【小学生】



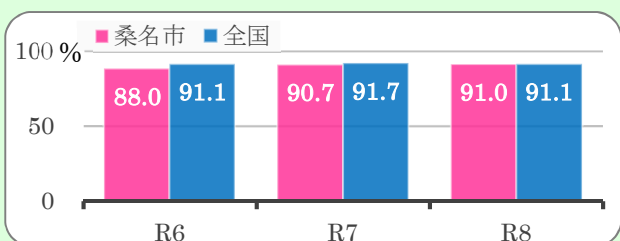
【中学生】



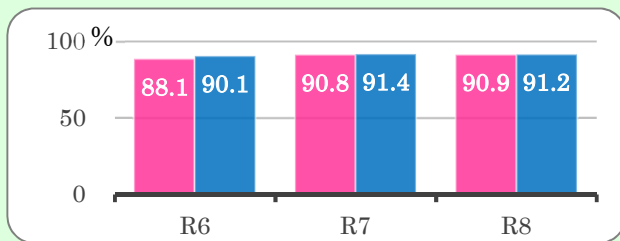
この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに昨年より低下しました。また、全国平均よりやや低い傾向が続いています。

○友達関係に満足している

【小学生】



【中学生】

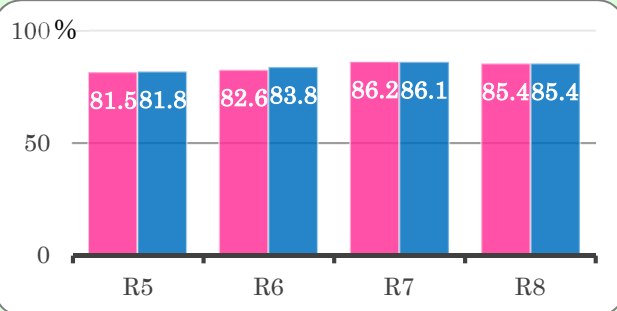
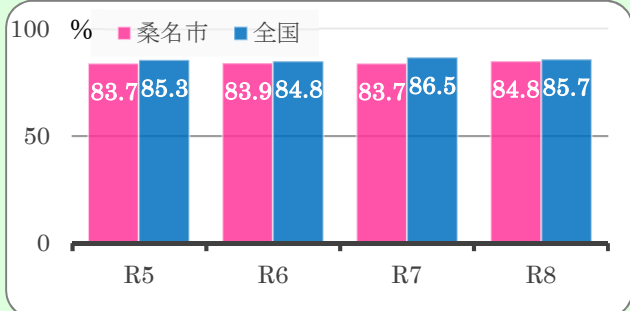


この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、9割を超えており、おおむね満足している傾向にあります。

○学校に行くのは楽しい

【小学生】

【中学生】

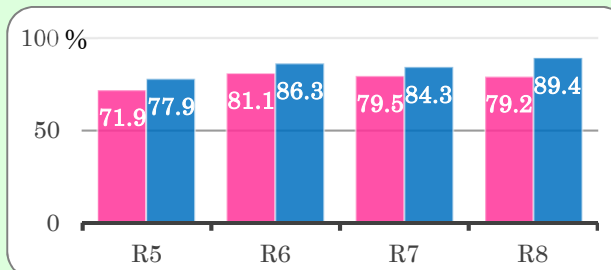
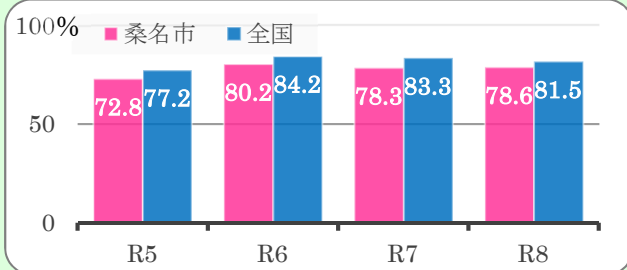


この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに8割を超えており、小学生は昨年度より上昇しました。

○学級をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める

【小学生】

【中学生】



この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均よりも低い傾向が続いています。

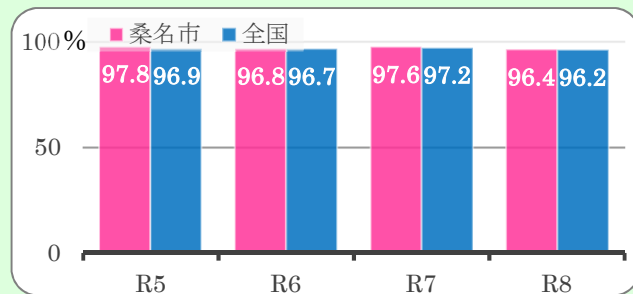
子どもたちがウェルビーイングを実感し、実現していくためには、一人ひとりが自らの良さや可能性を認識することが不可欠です。学校現場では、各教科や特別活動、総合的な学習の時間などを通じて、多様な価値観を持つ友人と対話し、協働して課題を解決する経験を重ねることで、将来を生き抜く力を育んでいます。一方で、本市の児童生徒を対象とした調査では、ウェルビーイングの指標が全国平均を下回る傾向にあります。この課題を解決するためには、学校教育の充実に加え、家庭や地域社会の中でも子どもたちが生きがいや充足感を得られる環境を整えることが重要です。今後も子どもたちの状況を的確に把握し、家庭・地域との連携をより一層強化していきます。

コラム

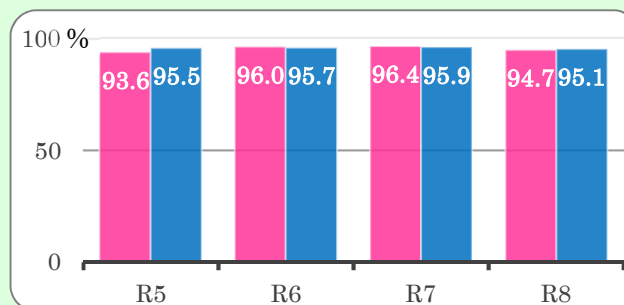
自己肯定感の涵養（かんよう）は、一朝一夕に成し遂げられるものではありません。家族や友人、そして教師といった身近な人々から「ありのままの自分」を認められ、受け入れられる経験の積み重ねこそが、その土台となります。子どもたちは悩みや失敗に直面し、自分の良さを見失いそうになることがあります。だからこそ、「あなたはあなたのままで素晴らしい」というメッセージが日常的に伝わるような関わりが、子どもたちが自らの生き方を選択するための力強い支えとなります。学校では現在、「人権フォーラム」や学級での話し合いを通じ、互いの思いを出し合い、受け止め合える場づくりを進めています。自分と異なる意見を尊重し、対話を重ねる経験は、他者への信頼感を育むと同時に、「自分も大切にされている」という実感へとつながります。これからも子どもたちが自分自身の存在を肯定し、他者との関わりの中で健やかに成長していける環境づくりに取り組んでいきます。

○いじめはいけないと思う

【小学生】



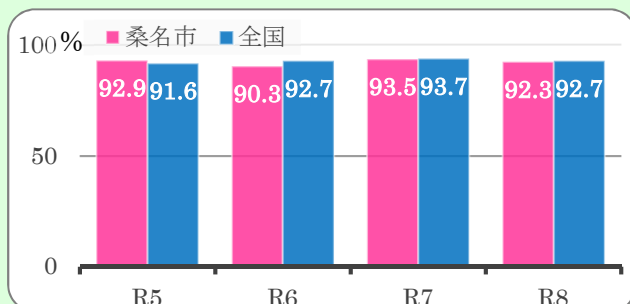
【中学生】



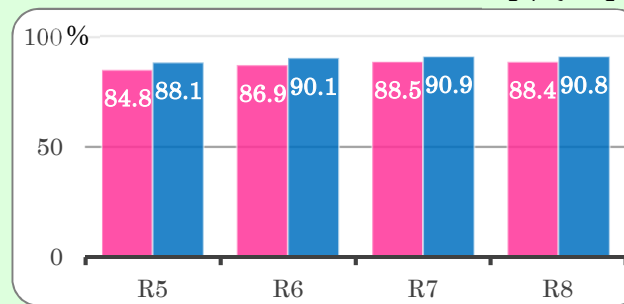
この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに9割を超える状況が続いていますが、昨年度より減少しました。

○人が困っているときは、進んで助ける

【小学生】



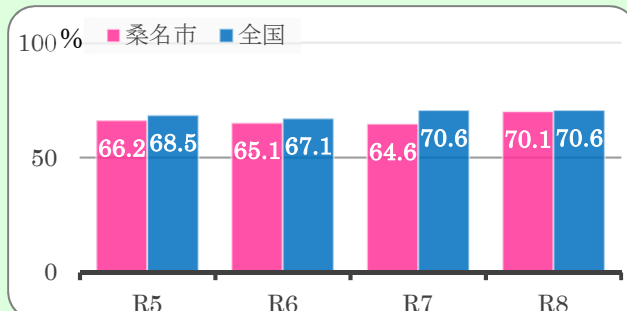
【中学生】



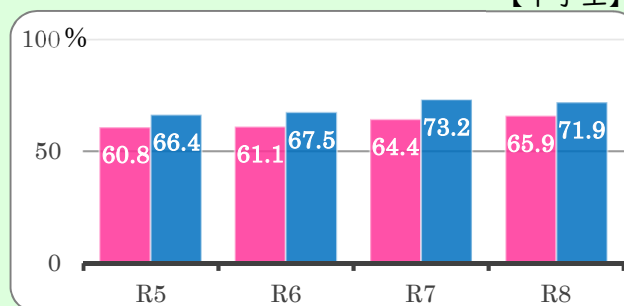
この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生で9割を超え、中学生でも8割を超えています。小中学生ともに昨年度よりわずかに減少しました。また、中学生で全国を下回る傾向が続いています。

○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

【小学生】



【中学生】



この項目を肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに、昨年度より上昇しましたが、小中学生ともに、全国平均より低い傾向が続いています。

各校では、毎年4月、11月の「いじめ防止強化月間」を中心に、児童会・生徒会活動や人権・道徳教育、学級づくり等を通して、規範意識や思いやりの心を育む教育を進めています。今年度は「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と肯定的に回答した児童生徒の割合が小・中学校ともに前年度を上回り、相談しやすい環境づくりが進みつつあることがうかがえます。一方、「いじめはどんな理由があってもいけない」「人が困っているときに進んで助ける」と肯定的に回答した児童生徒の割合が前年度を下回り、特に中学校では全国平均を下回る項目もみられました。このことから、今後も、児童生徒の自主的な活動を充実させるとともに、普段から全教育活動の中でいじめの未然防止や早期対応を行うことで、児童生徒同士が互いに認め合い、支え合うことができる学校づくりに取り組んでいきます。

学校の授業時間以外の使い方

日常の様子から、児童生徒の学習に対する意欲や学びに向かう姿勢を捉えることができます。

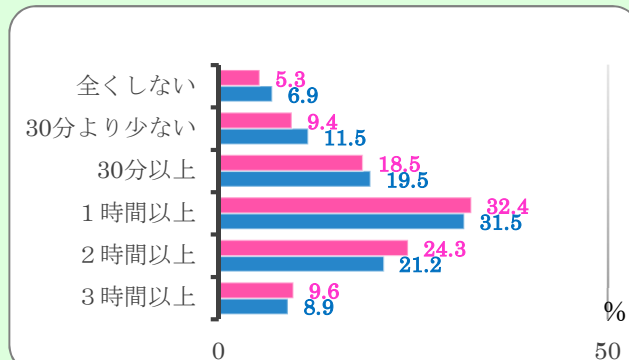
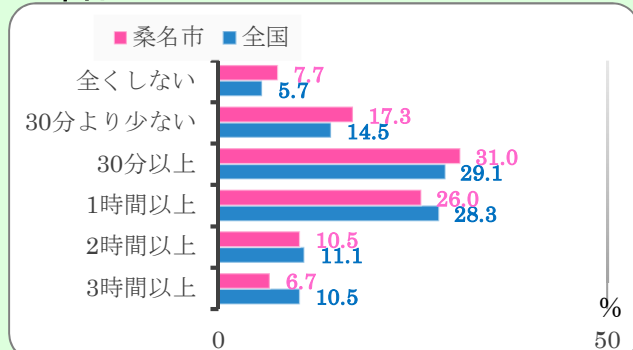
○学校の授業時間以外の使い方

- 学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

《平日》

【小学生】

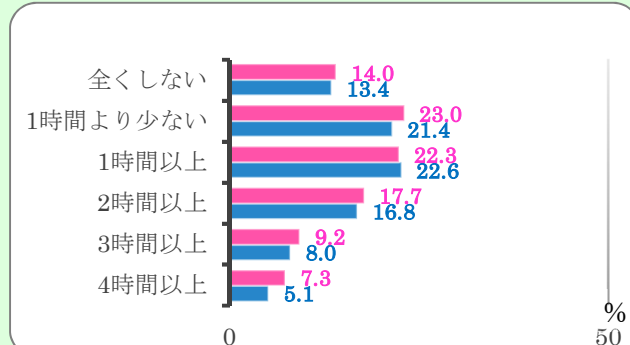
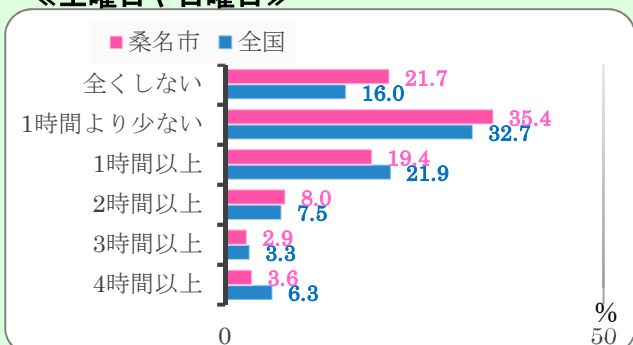
【中学生】



《土曜日や日曜日》

【小学生】

【中学生】



平日1日当たりの勉強時間は、小学生については「30分以上」「1時間以上」と回答した児童が合わせて約6割です。勉強時間は、全国と比べやや短い傾向にあります。

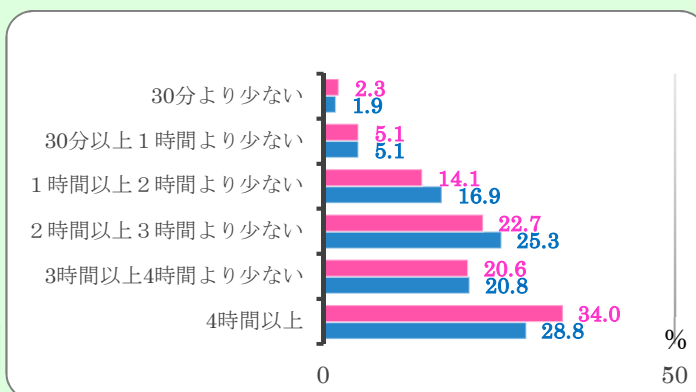
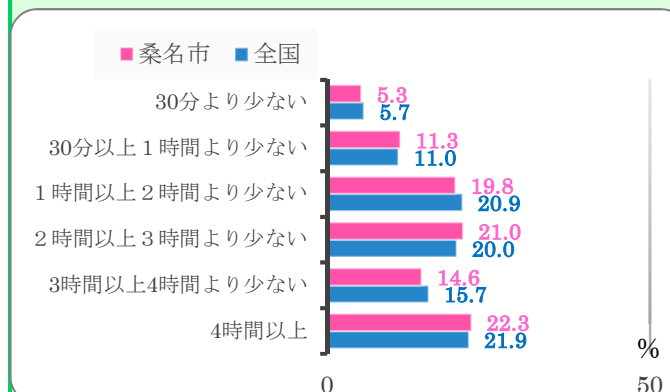
中学生は「1時間以上」「2時間以上」「3時間以上」と回答した生徒が合わせて約7割で、全国と比べやや学習時間が長い傾向にあります。

○平日のスマートフォンや携帯電話等での SNS や動画視聴時間

- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等(以下、「スマートフォン等」)で SNS や動画視聴などをしますか(スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

【小学生】

【中学生】



平日、小中学生ともに SNS や動画等の視聴時間が、全国平均より長いことがわかります。

平日に SNS や動画を見る時間が全国平均より長く、特に「4時間以上」見る割合が小学生で約22%、中学生で34%に達しています。

中学生は、家庭学習の時間が確保されている一方で、スマホ等の利用時間も非常に長いのが特徴です。勉強時間や睡眠時間・生活リズムに悪影響がでないよう、ご家庭での時間管理やルールづくりが重要テーマとなっています。子どもたち自身でタイムマネジメントしていく力が身に付けられるよう、さらなる家庭との連携を大切にしていきます。

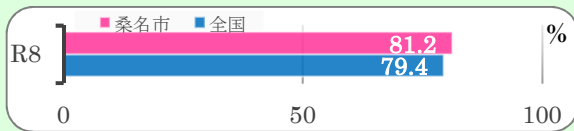
探究的な学びに関わって

探究的な学びとは、「自ら問いを見つけ、調べて考え、自分なりの答えを出す」学習方法です。暗記テストのように「決まった正解」を覚えるのではなく、「答えがひとつではない問題」に自分から挑むことで、自分で考えて解決する力を育む学習です。

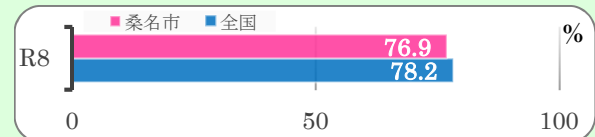
○自分で学び方を考えて、工夫する

- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

【小学生】



【中学生】

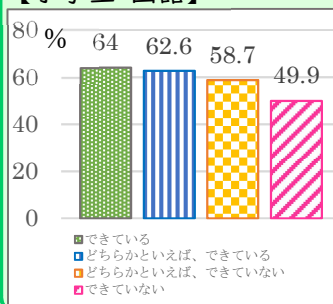


この項目を肯定的に回答した児童生徒は、小中学生ともに約8割となっており、小学生は全国を上回っています。

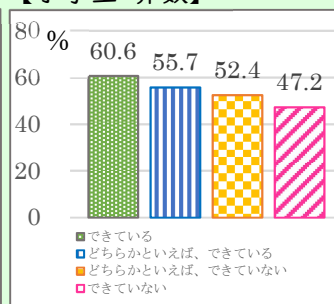
学習状況との相関について

学習状況との相関を示したグラフからは「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」と回答した児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることが分かります。

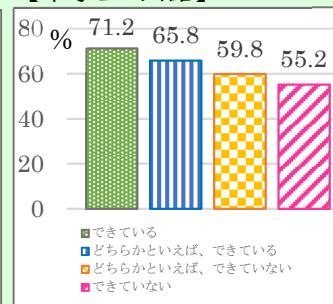
【小学生・国語】



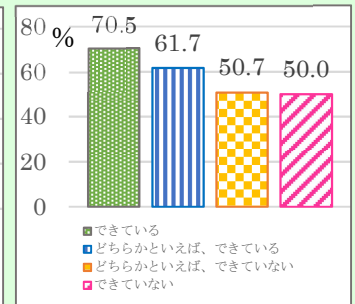
【小学生・算数】



【中学生・国語】



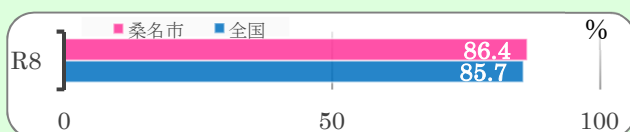
【中学生・数学】



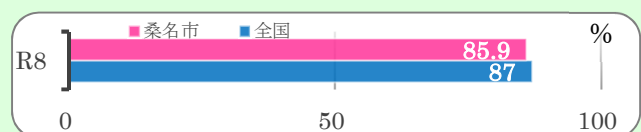
○友だちとの話し合いを通じて、自分の考えを深める・新たな考え方に気付く

- 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか

【小学生】



【中学生】

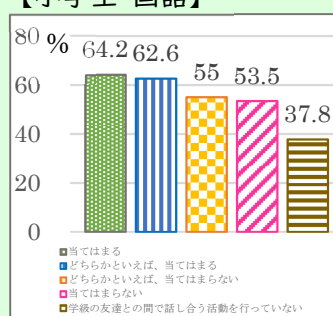


この項目を肯定的に回答した児童が、小学生で全国を上回っています。

学習状況との相関について

学習状況との相関を示したグラフからは「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている」と回答した児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることが分かります。

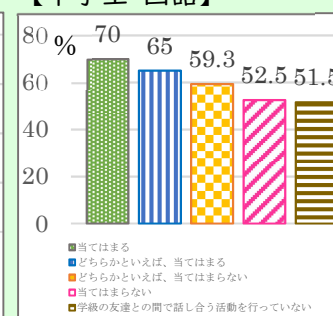
【小学生・国語】



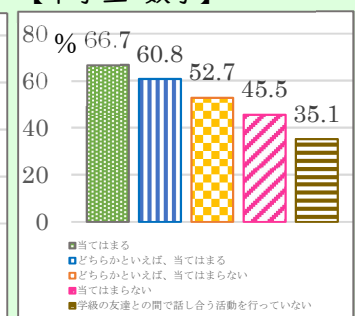
【小学生・算数】



【中学生・国語】

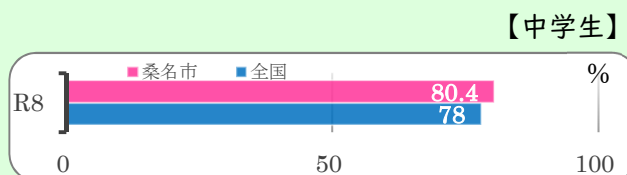
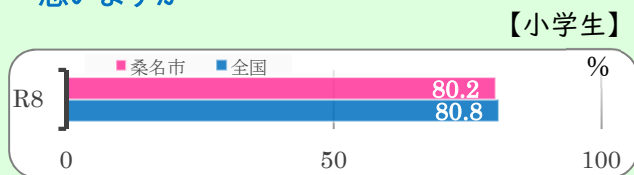


【中学生・数学】



○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけることができる

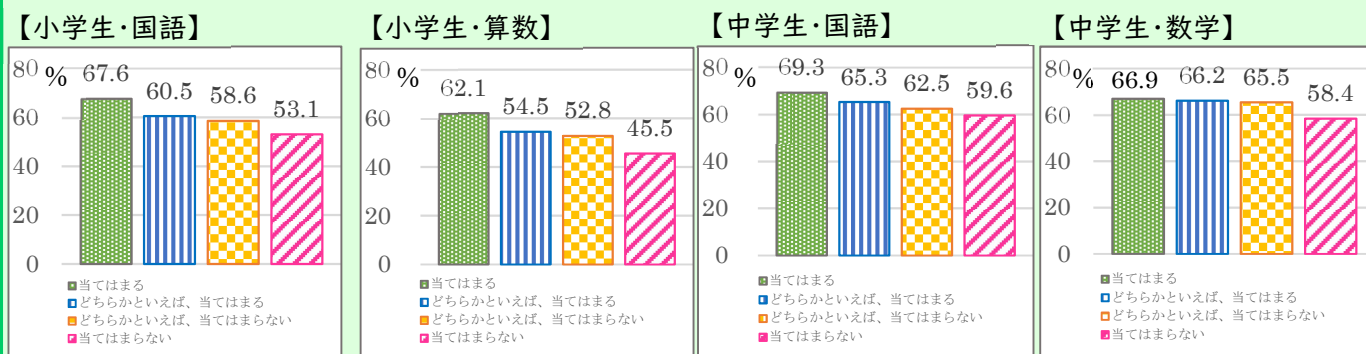
■授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



この項目を肯定的に回答した児童生徒は、小中学生ともに約8割となっており、中学生は、全国を上回っています。

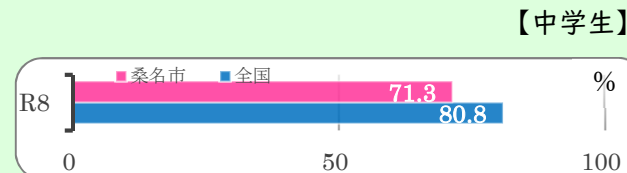
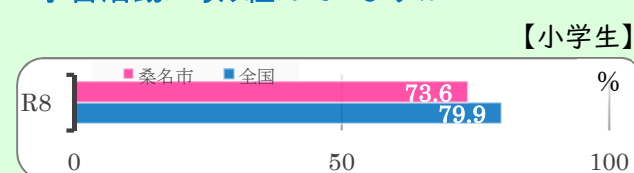
学習状況との相関について

学習状況との相関を示したグラフからは「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」と回答した児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることが分かります。



○自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する

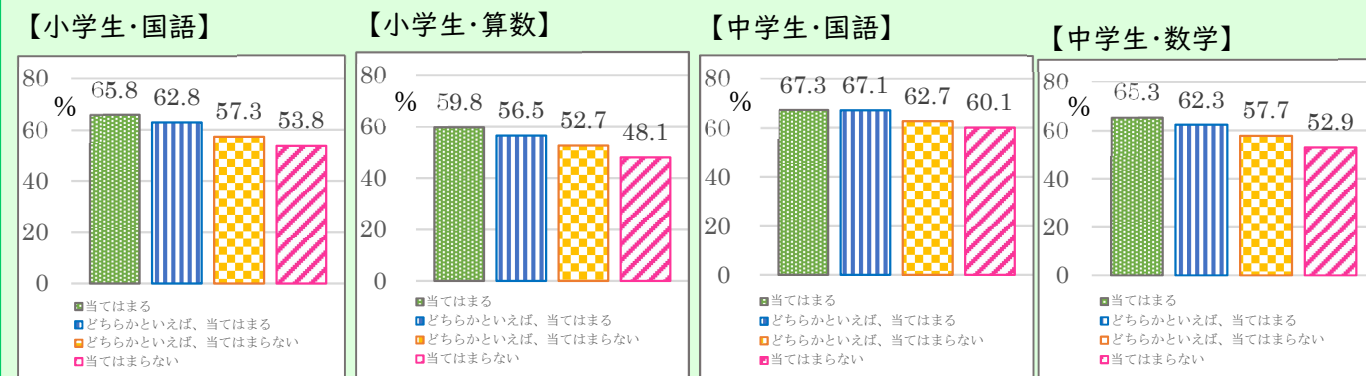
■総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



この項目を肯定的に回答した児童生徒は、全国を下回っています。

学習状況との相関について

学習状況との相関を示したグラフからは「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることが分かります。



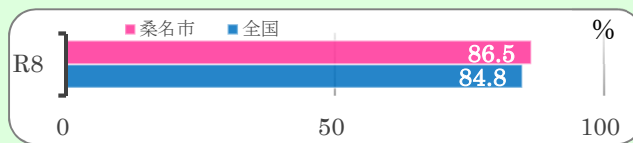
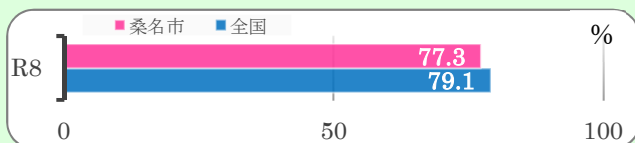
以下の3つの質問の％は、■の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合を示しています。

○ICT 機器を効果的に活用することができる

- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って文章を作成する(文字・コメントを書くなど)ことができますか

【小学生】

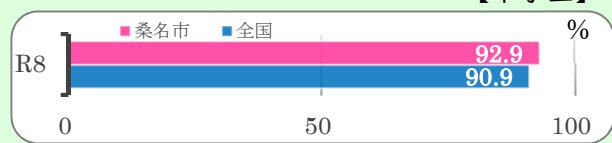
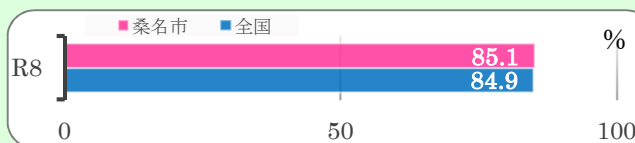
【中学生】



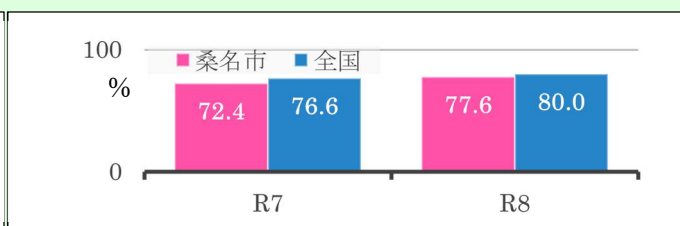
- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか

【小学生】

【中学生】



- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のライド)を作成することができますか



この項目を肯定的に回答した児童生徒は、小中学生とも昨年度に比べて上昇しました。

学習状況との相関について

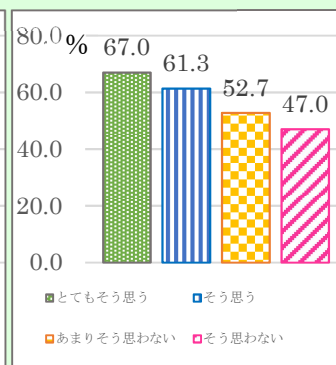
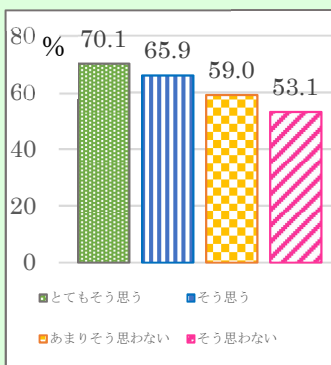
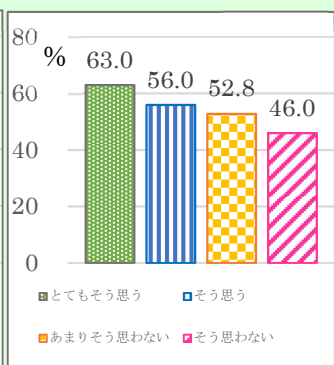
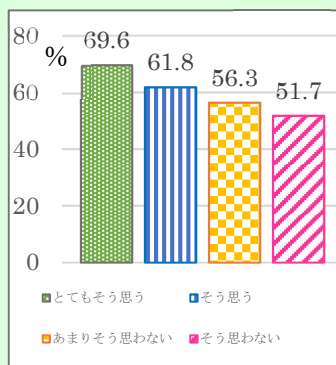
学習状況との相関を示したグラフからは、この項目に対して肯定的な回答をした児童生徒の平均正答率が高い傾向にあることがわかります。

【小学生・国語】

【小学生・算数】

【中学生・国語】

【中学生・数学】



授業におけるICTの活用率は、相変わらず高い水準で推移しています。課題である効果的な活用については、「ICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成する」の数値が昨年度より大きな上昇が見られ、授業改善が着実に進んでいます。今後も本市がめざす「探究的な学び」や「個別最適な学び」につながるICTの効果的な活用を推進していきます。

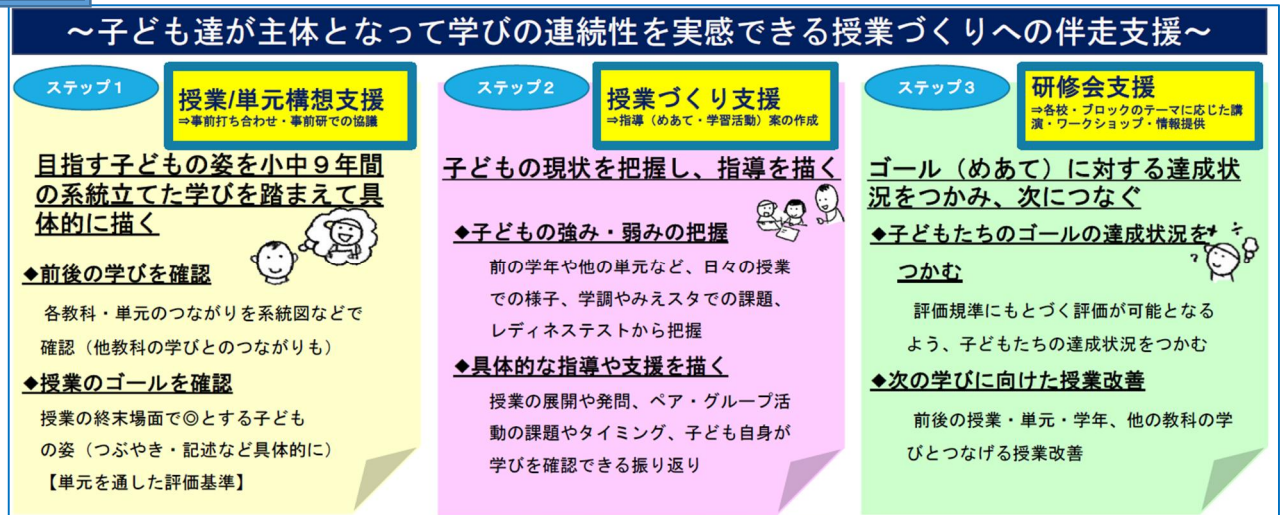
Ⅲ 桑名市の取組について

桑名市では、全市的に展開している小中一貫教育の市の重要項目として、

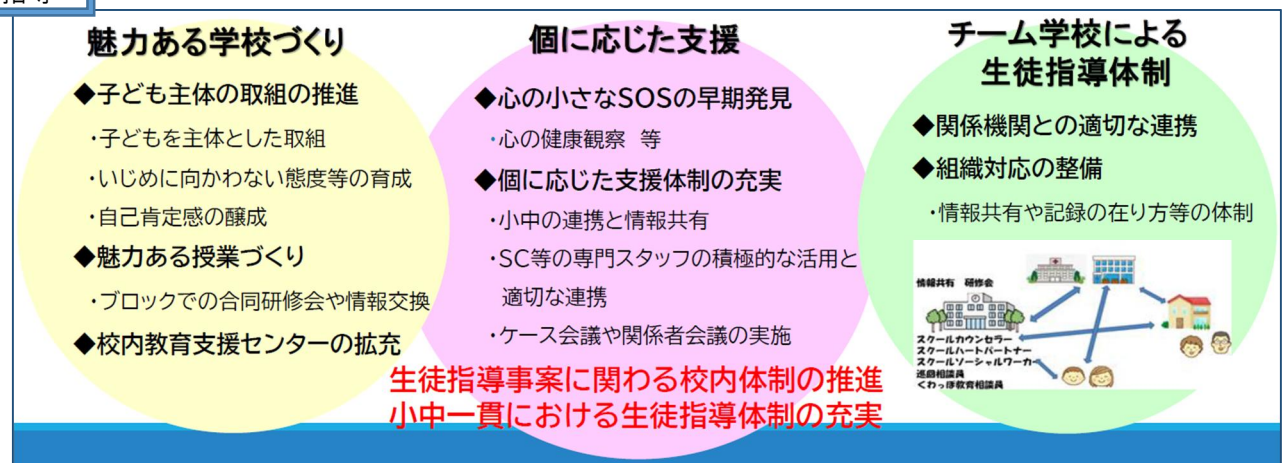
「一人ひとりの子どもを主語にした学び」「いじめ・不登校の未然防止と支援の充実」

の2つを掲げ、学習指導・生徒指導・人権教育の各視点から、継続的に取組を行い、子どもたちのウェルビーイングの実現を目指しています。

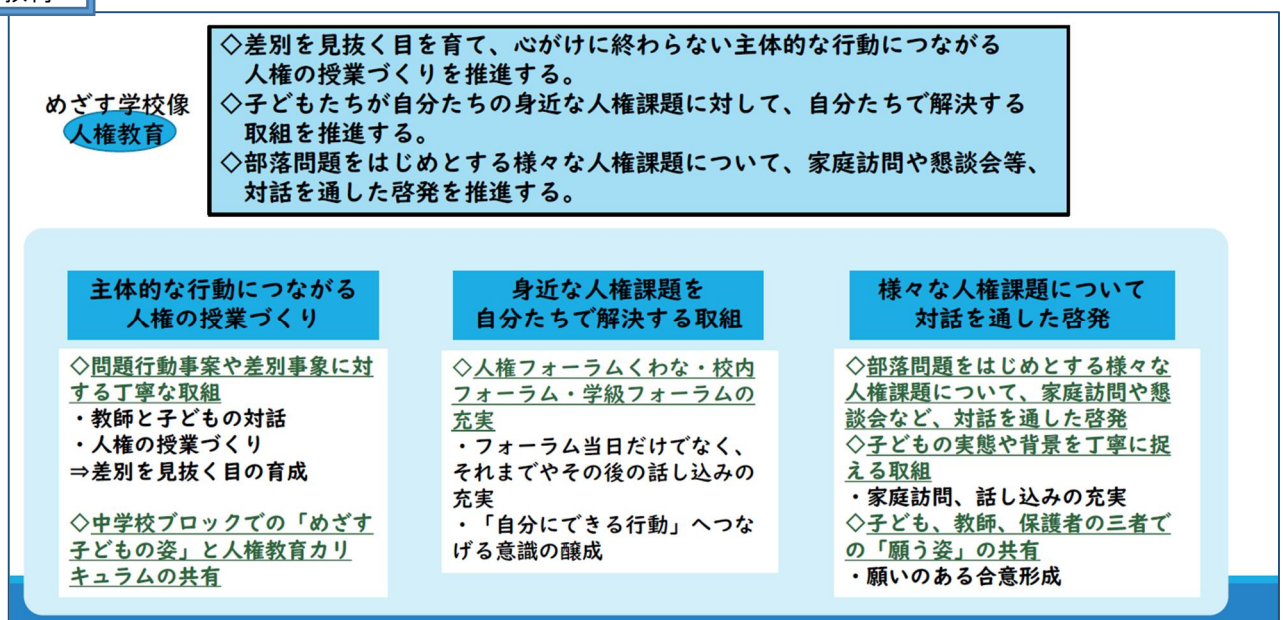
学習指導



生徒指導



人権教育



おわりに

桑名市教育大綱では「夢を持ち、その夢に向かって努力する子を育てること」を基本理念としています。また、令和2年度から小中一貫教育を導入し、9年間の縦のつながりを大切にした教育を進める中で、児童生徒一人一人に、これからの社会を生き抜くための確かな学力、社会と関わり他者と協働できる力、粘り強くじっくり取り組むことができる心と身体を育成しています。

本調査結果概要につきましては「令和8年度 全国学力・学習状況調査」について、7月末に文部科学省国立教育政策研究所から出された報告書を参考に、本市の児童生徒の学力や学習状況について分析結果や今後の方向性を取りまとめました。調査の結果においては、児童生徒の学力のすべてを表すものではないこと、学校における教育活動の一側面であることに留意しつつ、結果を踏まえ、今後の取組を進めていきます。

子どもたちの学力向上や健やかな成長には、子どもたちの学びの基盤となる日々の生活習慣を整えることも重要な要素の一つとなります。ご家庭では、睡眠や食事などをはじめとして、子どもたちの生活リズムを整えていただければと思います。

また、本調査の結果から「自分には、良いところがある」と肯定的に捉えている子どもほど、学力が高くなる傾向が分かっています。ご家庭で一緒に過ごす際には、学校の様子や日常のつぶやきなど、お子さんの声を聞いていただき、がんばりを認め、ぜひ、励ましてあげてください。

これからも、学校と家庭、地域が一体となって、桑名市の子どもたちの成長を見守り、支えていけるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

問題の内容等に関しては、『国立教育政策研究所 教育課程研究センター』HPにも掲載されていますので、ご参照ください。



<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>